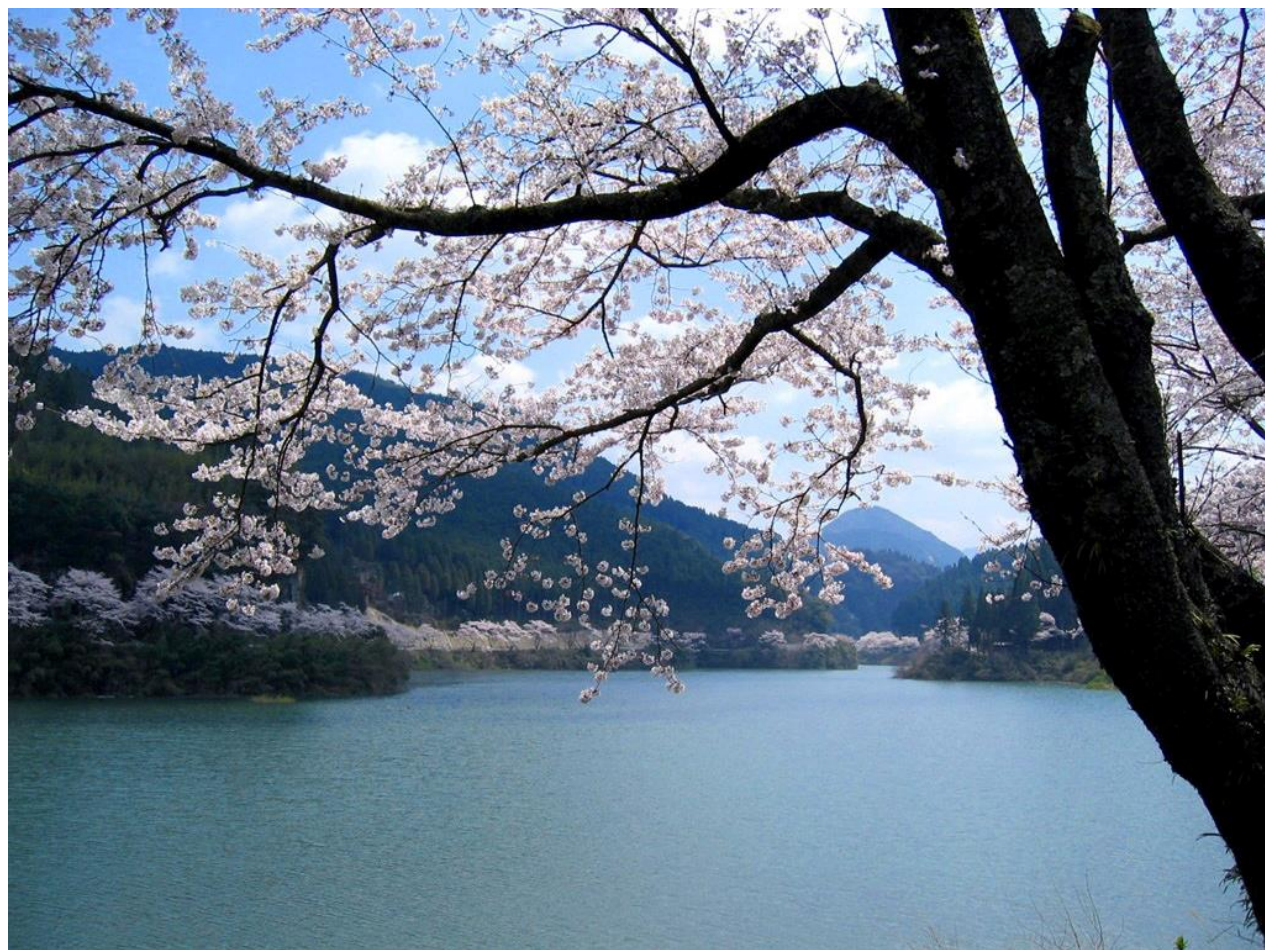


福岡県八女市矢部村

矢部診療所



福岡県27期

吉永 亮

矢部村の位置

福岡県最東南端

東は大分県、
南は熊本県に接する

奥八女と呼ばれる



矢部村へのアクセス

JR博多駅 →

JR羽犬塚駅

JR鹿児島本線下り特急 37分



堀川バス
矢部線 100分

矢部村

自家用車だと福岡市内から高速を使って約2時間

救急搬送の場合、八女市の2次救急病院まで救急車で1時間

矢部村

福岡県八女市に属する（2010年2月に合併）

隣には、

女優黒木ひとみの出身地である黒木町、

日韓W杯でカメルーンのキャンプ地だった旧中津江村がある

面積 80.46 km²

四方を峻険な山岳に囲まれ、林野が85.3%を占める

人口 1552人 (平成22年4月) 610世帯

65歳以上 44.0(%)

産業：農業 お茶(八女茶)、いちご(あまおう)、米、葉わさび

林業 杉が中心

矢部村の名所

蹴洞岩(けほぎいわ)

太古の昔、日向神大明神がすばらしい景色にみとれて誤って馬で蹴破ったと穴という伝説が語り継がれている。



地元八女の隆勝堂という菓子メーカーが「けほぎ饅頭」を作っている。



矢部村の名所

日向神峡(ひゅうがみきょう)

日向神ダムにあり、ダム周辺は桜に囲まれ千本桜と呼ばれ、桜の名所



4月には満開の桜の中を走るさくらマラソンが開かれる

矢部村の名所

秘境 杣の里溪流公園



福岡県一高い釈迦岳(1230m)の中腹にあり
宿泊施設、露天風呂の他、レストラン、バーベキュー場などもあり、
家族レジャーや研修、部活動の合宿などで利用される。



宿泊施設ソマリアンハウス



杣の大吊り橋

矢部村の名所 秘境 杣の里溪流公園



杣人の家



杣の里でのバーベキュー



約130年前(安政5年)に建てられた民家で季節の山菜やヤマメなど郷土料理が食べることができる

矢部村の名所



矢部川河川プール

水がきれいで冷たい
夏に息子とよく遊びます



八女媛神社と神の窟(いわや) 矢部村のパワースポット

日本書紀に記載され
八女という地名の語源になっている
八女媛(やめつひめ)を祀っている

矢部まつり

毎年11月に開催され、矢部村の特産品の直売をはじめ、村に代々伝承されている文化を広く紹介し、都市との交流を深める祭



八女津媛神社の浮立(ふりゅう)の奉納は
県指定の民俗無形文化財となっている



矢部村総合福祉団地

医療福祉ゾーン

特別養護老人ホーム(ゆいのもり)

高齢者在宅福祉センター

矢部診療所

矢部歯科診療所

住宅ゾーン

村営住宅(シルバーハウジング)

公営住宅

すべて同一敷地内

医療福祉ゾーンでは、歯科治療を含めた医療サービスを、
デイサービス、ショートステイ、入所までの介護サービスをうけることができる。

住宅ゾーンには、高齢者向けの賃貸住宅があり、山間地に生活することが
困難となった高齢者が利用できるようになっている。

矢部村総合福祉団地 医療福祉ゾーン

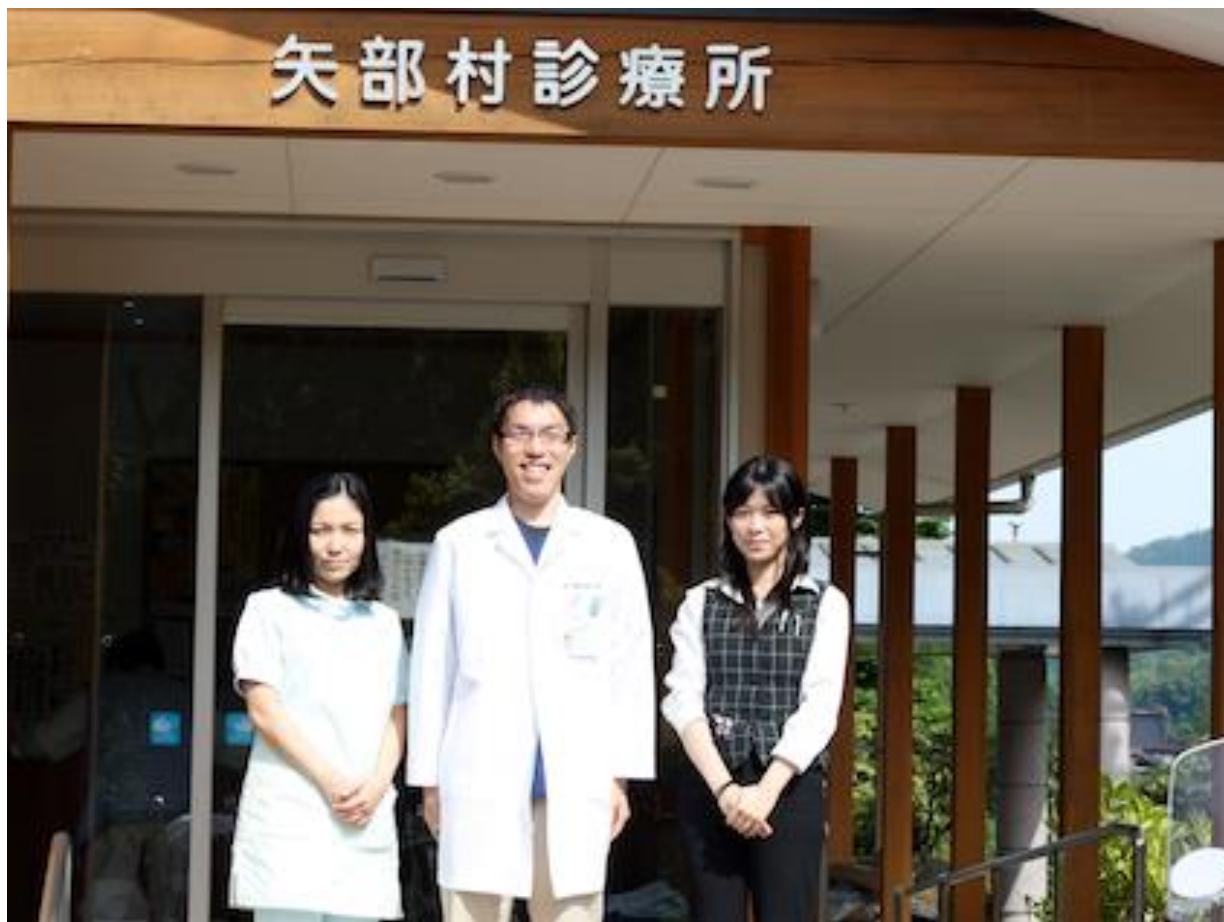


矢部村の医療

- 平成18年4月 民間医療機関の閉院に伴い**無医村**となる
- 平成18年春 診療所建物が完成するが**医師不在が続く**
- 平成19年4月 自治医大福岡15期(西村時重先生)が勤務開始
- 平成22年4月 自治医大**義務年限内**医師(吉永)が派遣開始



八女市矢部診療所



村内唯一の医療機関

医師1名 看護師2名 事務員1名

診療時間

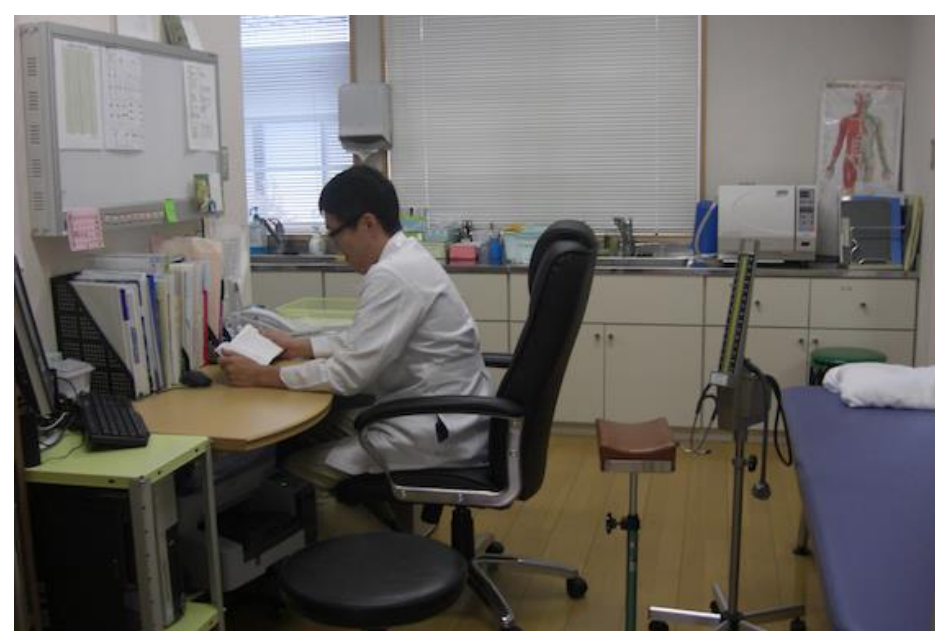
平日9時～17時

第2・4土曜日 9時～12時

1日平均患者数;20-30名



受付・待合室



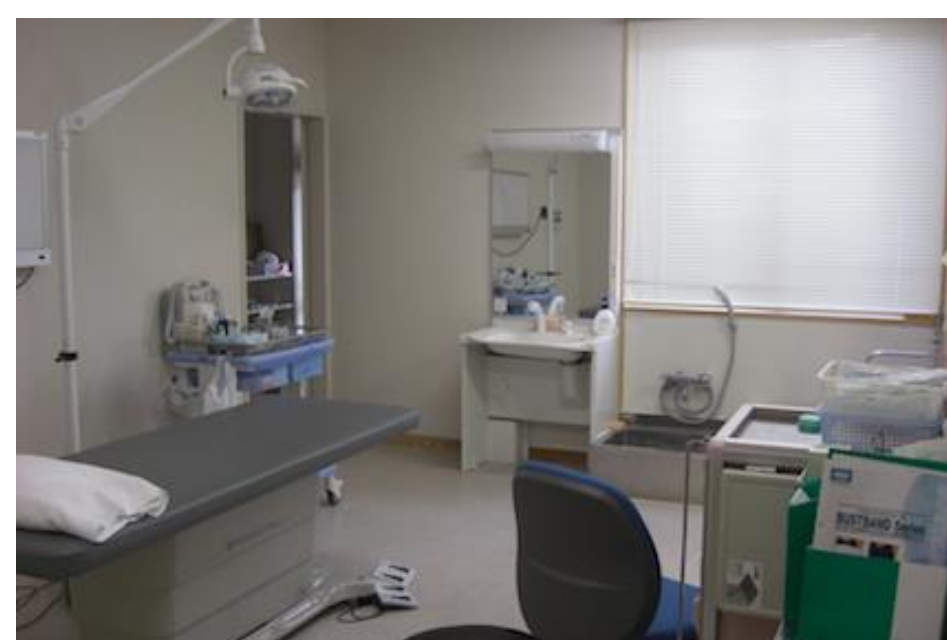
診察室



薬局



内視鏡室



処置室

農業、林業に従事する村民がほとんどで
外傷患者、ハチ・ムカデ咬傷が多い

創洗浄がしっかり行えるよう
洗浄台を備えてある



リハビリ室

肩、腰、膝痛などの治療に使い、
高齢者に人気

SSP

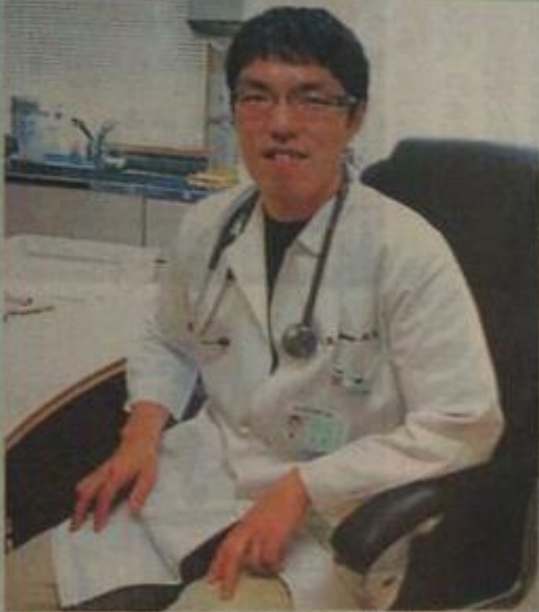
牽引器

メドマー

マイクロ波

エルゴメーター

マッサージ機



八女市矢部診療所に勤務する吉永亮医師

きらり 師

病気の兆し見逃さず

吉永 亮さん(32)

(八女市矢部診療所医師)

県の派遣で4月から、八女市矢部診療所の医師として勤務している。

前任地は新宮町相島の相島

診療所。自治医科大学(栃木県)を卒業後、研修医の期間を経て初めて経験する単独の医療現場では3年間、最良約

心掛けています。

前任の医師は広川町からの通勤だったが、吉永さんは診療所併設の住居に妻桂子さん(27)と長男輝斗君(1)との3人暮らし。24時間の診療体制が確保されたばかりに住民の安心感が格段に高まった。

「妻の『買い物が便利にな

った』と喜んでいます。何せ

島からの通勤なので、普通の

奥さんの反応とはちょっと違

うでしょうが…」と笑顔。

村に來てからの趣味は最近

歩き始めた輝斗君との散歩。

休日には親子そろって村内を

歩き、地元の高齢者たちとの

交流を楽しんでいる。

3000人の命を支え続けた。相島と矢部村。とても高齢者が患者の大半を占めるが、交通手段が少なく徒歩移動中心の島の住民に比べて、矢部の患者には糖尿病や肥満の症状が多いという印象だ。

「問診では『何も変わらな

い』と答える患者さんがほとんど。食事や睡眠など相手のちょっとした生活の変化から病気の兆しを見逃さないよう

(八女市矢部村矢部)

派遣後、矢部村診療所宿舎に初めて医師が住むということで西日本新聞に特集されました。

2010.5.15

矢部村での生活

福岡県最東南端で福岡市内までは車で2時間・・・

黒川温泉・九重・阿蘇までは1時間足らず

平地に比べて気温が2-3℃低い

最寄りのコンビニ・スーパーまでは車で30分

主に生協を利用して食料品を購入



タラの芽

山菜の時期になると
タラの芽、ウド、ワラビ、ゼンマイ
イ
などが取れる

矢部村での生活

山から四季を感じることができる

春



日向神ダムの千本桜



ツツジ



シャクナゲ

矢部村での生活 山から四季を感じる事ができる

秋



矢部村での生活

矢部村で栽培された
八女茶を美味しい水で
飲むことができる



茶畑

週末には福岡市内から
水を汲みにくる人も・・・



矢部川の上流
最後は有明海に注ぐ



知る人ぞ知る水汲み場

矢部村での生活

矢部村の食材を使った料理が名物



まんどきそば



ソマリアンカレー
村でとれた椎茸がゴロゴロ



よもぎ饅頭
饅頭作りで肩痛の人がよく受診する

矢部村は地域実習、大歓迎！！



福岡33期

阿南 悠平君
(矢部初の実習生)

2010年9月2日

地域実習歓迎会

杣人の家にて